

▽ 宮城 弘樹 MIYAGI,Hiroki



所 属:総合文化学部 社会文化学科  
 担当科目:沖縄の考古学  
 考古学概論、アジア考古学  
 博物館資料論、生涯学習論、領域演習  
 社会生活課題研究、フレッシュマンセミナー

学歴等のプロフィール

- ① 【 主要学歴 】 ② 【 学 位 】 ③ 【 所 属 学 会 】 ④ 【 主要な社会的活動 】

- ① 沖縄国際大学大学院地域文化研究科 南島文化専攻修士課程修了  
 ② 修士 2009 年  
 ③ 沖縄考古学会、日本考古学協会、東洋陶磁学会、出土銭貨研究会、首里城研究会、NPO 法人アジア文化財協力協会、南西諸島水中文化遺産研究会、沖縄文化協会、沖縄博物館協会  
 ④ 平成 28 年度沖縄県立博物館・美術館特別展「旧石器時代の沖縄」展示検討委員 (2015～2016 年度)、新沖縄県史編集協力会議『沖縄県史図説編前近代』(2016～)、うるま市文化財保護審議会委員 (2016～)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
アジア考古学 I	2014 年 4 月～7 月	2014年度、前期、社会文化学科学生、授業形態講義、専門科目、2単位、授業回数15回、授業登録者数13人
沖縄の考古学、考古学概論、考古学概論2、考古学特講 I・II、博物館資料論、生涯学習概論	2014 年 4 月～ 2017 年 3 月	2015年～2016年度 授業形態講義形式・ゼミ形式、専門科目・資格科目・共通科目、2・4単位、授業回数15・30回、授業登録者数 6～100人
考古学特講	2016 年 12.17-22	2016 年度後期 愛媛大学集中講義・講義形式登録者数 13 人
学外での教育活動 研修会・講座講師	2011 年 2 月 12 日  2011 年 10 月 10 日	「発掘された今帰仁城跡とその周辺」『第 45 回文化講座 世界遺産のグスク～最新の発掘成果～』(於:沖縄県立埋蔵文化財センター) 「身近な水中文化遺産と関連文化財～水底に眠る先人の営み～」『海に沈んだ歴史のカケラ～南西諸島の水

		中文化遺産の世界～』2011 年度「海の文化遺産総合調査プロジェクト」(日本財団助成事業)特定非営利 アジア水中考古学研究所(於:沖縄県立博物館・美術館)
	2014年1月18日	「遺跡出土銭貨が解き明かす琉球貨幣史～古琉球・銭の物語」沖縄県立博物館・美術館第440回博物館文化講座(於:沖縄県立博物館・美術館・3F講堂)
	2015年11月5日	「琉球のグスクの成立」中城村文化財ボランティアガイド養成講座(於:中城中央公民館)
	2015年12月1日	「グスクの構造～グスク社会の多様性とグスクの構造」中城村文化財ボランティアガイド養成講座(於:中城中央公民館)
	2016年2月19日	「辺野古崎に眠る遺跡からのメッセージ」ヘリ基地反対協(於:労働福祉センター)
	2016年8月13日	「グスク時代に拓かれた新たな交易ルートー出土陶磁器から考えるグスク時代の物流ー」宮古島市教育委員会(於:宮古島市中央公民館研修室)
	2016年12月17日	「座喜味城跡と今帰仁城跡～今帰仁城跡の発掘調査からみた沖縄のグスク～」読谷村埋蔵文化財講座(於:読谷村文化センター)

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

<p>主要論文【単著】</p> <p>2010年2月「中世の銭と琉球王国」『新沖縄県史各論編 古琉球』 沖縄県教育委員会 pp.527-544</p> <p>2010年3月「貝塚時代とグスク時代(特集 南西諸島の考古学)」『考古学ジャーナル』597 ニューサイエンス社 pp.21-23</p> <p>2010年9月「史跡公園は今・保存と活用への新たな動き 人が集い心の宿る琉球のグスク-今帰仁城跡」『考古学研究』57(2) 考古学研究会 pp.111-114</p> <p>2011年3月「グスク時代に訪れた大規模な島の景観変化」『先史・原史時代の琉球列島《ヒトと景観》』高宮広土・伊藤慎二(編) 六一書房 pp.217-241</p> <p>2011年3月「グスク出現前後の考古学研究史とその論点の整理」『沖縄文化研究』37 法政大学沖縄文化研究所 pp.215-265</p> <p>2012年5・9月「発掘調査から分かる今帰仁グスクの土木技術(上・下)」『しまたてい』no.61-62 一般社団法人沖縄しまたて協会 pp.4-7</p> <p>2013年3月「水底から発見された文化財」『水中文化遺産データベース作成と水中考古学の推進 海の水中文化遺産総合調査報告書ー南西諸島編』特定非営利活動法人 アジア水中考古学研究所 pp.113-114</p> <p>2013年3月「漂流・漂着地点の手がかりとしての関連文化遺産」『水中文化遺産データベース作成と水中考古学の推進 海の水中文化遺産総合調査報告書ー南西諸島編』特定非営利活動法人 アジア水中考古学研究所 pp.202-210</p>
--

2013 年 3 月「水中文化遺産シンポジウム」『水中文化遺産データベース作成と水中考古学の推進 海の水中文化遺産総合調査報告書－南西諸島編』特定非営利活動法人 アジア水中考古学研究所 pp.230-233

2013 年 12 月「貝塚時代後期土器の研究 V－アカジャンガー式土器の概念整理－」『廣友会誌』6 廣友会 pp.11-20

2014 年 3 月「無土器期の宮古島と銭」『宮古島市総合博物館第 26 回企画展関連行事シンポジウム 資料集』宮古島市総合博物館 pp.16-21

2014 年 3 月「貿易陶磁器出現期の琉球列島における土器文化」『琉球列島・先史原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究 研究論文集』高宮広土・新里貴之(編) 六一書房 pp.199-214

2014 年 9 月「今帰仁城跡出土貿易陶磁研究略史」『貿易陶磁学会資料集』日本貿易陶磁学会 pp.105-114

2014 年 9 月「南西諸島海底に沈む貿易陶磁」『貿易陶磁学会資料集』日本貿易陶磁学会 pp.209-218

2015 年 12 月「南西諸島出土滑石及び滑石混入土器出土遺跡集成」『廣友会誌』第 8 号廣友会 pp.19-31

2016 年 3 月「グスク時代初期における出土滑石からみた集団関係」『南島文化』第 38 号沖縄国際大学南島文化研究所 pp.89-99

2016 年 4 月「グスク出土陶磁流通の一考察」『亀井明德氏追悼・貿易陶磁研究等論文集』同文集刊行会 pp.254-262

2016 年 11 月「沖縄先史文化の特徴」『平成 28 年度博物館特別展 港川人の時代とその後—琉球弧をめぐる人類史の起源と展開—』沖縄県立博物館・美術館 pp.102-108

#### 主要論文【共著】

宮城弘樹・具志堅亮 2012 年 3 月「徳之島天城町松原西区の一括出土銭～日本列島最南端の一括出土銭について～」『平成 23 年度文化庁文化遺産を活かした観光・地域活性化事業 天城町文化財悉皆調査報告書』天城町文化財活性化実行委員会 pp.79-81

片桐千亜紀・宮城弘樹・新垣力・山本祐司・渡辺美季 2013 年 3 月「国頭村宜名真沖で沈没した異国船の調査研究」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第 6 号沖縄県立博物館・美術館 31-54P

宮城弘樹・千田寛之 2014 年 6 月「グスク時代初期農耕文化の動態」『南島考古』第 33 号沖縄考古学会 pp.1-15

宮城弘樹・渡久山尚子 2016 年「東村有銘採集の石器について」『かみふくち』(東村立山と水の生活博物館紀要)第 4 号 同博物館 pp.1-10

#### 書籍【共著】

片桐千亜紀・宮城弘樹・渡辺美季 2014 年 11 月『南西諸島の水中文化遺産～青い海に沈んだ歴史のカケラ』ポーターインク

## 研究分野

考古学(南島考古学、貝塚時代、グスク時代、出土銭貨、貿易陶磁、水中考古学、先島先史文化)

## 【Eメール・ホームページ等】

[h.miyagi@okiu.ac.jp](mailto:h.miyagi@okiu.ac.jp)

平成 29 年 4 月 1 日現在